

公益財団法人
どうぶつ基金
活動報告書

ANIMAL ACTION FUND ACTIVITY REPORT

2024

2024.4.1 -
2025.3.31

さくら ・ にゃん ・ にゃん

3.22

3月22日は「さくらねこの日」



659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報紙向けの製紙原料として使用が可能です。

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND



愚直に。

さくらねこTNRで殺処分ゼロを目指す。

皆様へ

日頃より、どうぶつ基金を応援していただき、厚くお礼申し上げます。皆様の温かいご支援とご理解があつてこそ、私たちは日々、動物たちのために活動が続けることができております。

2024年度も、どうぶつ基金は全国の動物たちの声に耳を傾け、その声に応えるために活動を展開してまいりました。全国で実施された無料不妊手術の件数や、各種プロジェクトを通じて、多くの成果をあげることができました。

環境省の発表によりますと、猫の殺処分数は大幅に減少しております。これは、どうぶつ基金が長年にわたり続けてきた猫の無料不妊手術の成果であると確信しております。

しかしながら、猫の引き取りを拒否することで、動物愛護センターに収容される猫の数をほぼゼロにし、殺処分ゼロを達成したと誇る行政の存在が問題となっております。2013年の動物愛護法改正により、行政が引き取りを拒否できるようになり、その結果、動物愛護センターで

の引き取り数が大幅に減少しました。引き取り数が減少すると、それに伴い殺処分数も減少しますが、その裏では、引き取りを拒否され不妊手術を施されていない猫が野に放たれ、その結果、野良猫が増加し、近隣住民からの苦情が増加するという問題が発生しております。

だからこそ、野良猫の増加を防ぐための努力が一層重要であります。どうぶつ基金では、一頭でも多くの猫に不妊手術を施すことが、殺処分ゼロを実現する最も有効な手段と考え、本年度も「さくらねこ無料不妊手術事業」を核とするTNR活動に注力してまいりました。

他にも多くの問題に対処しなければならない年度でありましたが、一つ一つの課題に真摯に向き合い、大きな成果をあげることができました。これらの成果は、「殺処分ゼロ」を共に目指す皆様のご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援が、動物たちの命を救う力となっております。改めまして、深くお礼申し上げますとともに、ここに1年間の活動をご報告申し上げます。

公益財団法人 どうぶつ基金 理事長

佐上邦久



当法人の理事長は、いかなる報酬も受け取ることなく、全活動が無償にて従事しております。また、国内外における不妊手術（出張手術を含む）や、調査・視察等の活動に要する費用（交通費、宿泊費、日当等の実費）についても、すべて理事長個人の負担により賄われており、当法人の予算からの支出は一切ございません。このことは、法人運営における透明性と公益性を確保する観点から、ここに明記いたします。

639頭の猫が「さくらねこ」に！ 壱岐島を「人と猫が幸せに共生できる島」へ 変える挑戦が始まる。



人口約2万3千人の島で起きていること

壱岐市は2022年7月にどうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、無料不妊手術チケットを使用して野良猫のTNRに取り組んできました。しかし、壱岐島内にどうぶつ基金の協力病院はなく、壱岐市と協働する地元ボランティアは、船を利用して福岡県の協力病院に猫を運んでいます。壱岐市が独自で行っている飼い主のいない猫の不妊手術に対する費用補助も利用者は少なく、TNRが猫の繁殖スピードに追いつかず、野良猫の数は増加する一方です。また、野良猫が増えている地区は野良犬も多く、子猫が襲われて命を落とすという悲劇も起こっています。



壱岐市からのSOS「島内で増え続ける猫と共生の道を探りたい」

壱岐市の問題は飼い主のいない猫だけではありませんでした。多頭飼育崩壊や高齢者が猫を複数頭飼育していることも多く、そのほとんどが未手術で年々子猫が生まれ続けています。野良猫の繁殖を止めるだけでは事態は収束しません。この状況を何とかしたい、人と猫が共生できる町にしたいと強く願う壱岐市からの協力要請を受け、野良猫の繁殖を止めて共生していくためのTNRと多頭飼育崩壊（予備軍を含む）の飼い猫の不妊手術を集中的に実施することが決定しました。



「日本最古のイエネコの島」でスタートした共生への取り組み

壱岐島で生きる猫を救うためのプロジェクトは、2024年9月に第一回、2024年12月～2025年3月に第二回が実施されました。



日本最古のイエネコの島・壱岐島

2011年、壱岐市によるカラカミ遺跡（弥生時代の環濠集落遺跡）の発掘調査でイエネコの焼骨（とうこつ＝前腕の骨）が発見され、年代測定の結果、紀元前 2 世紀（弥生時代）のイエネコの骨であることが判明しました。それまでは、考古学的に時代がはっきりとしたイエネコの骨の発見例は、神奈川県「千葉地東遺跡」で確認された鎌倉時代（13 世紀代）のものが最古で、実物資料としては、約1300年の歴史が塗り替えられたそうです。

参考：壱岐新聞 WEB 版（2014）「日本最古イエネコの骨 一支国博物館で公開」
<https://iki-guide.com/archives/2025>（参照 2024-11-28）

手術実績

第一回 2024年9月26日～29日

4日間にわたり、飼い主のいない猫と多頭飼育崩壊状態の飼い猫、合わせて119頭に無料で不妊手術を行いました。しかし、1回目の一斉TNRで対応できたのは大きな島のわずか一地域のみ。手術を必要とする猫はまだ多く、島民から不妊手術に関する問い合わせが相次ぎました。

搬入数	119頭
手術対象	119頭
手術実施数	119頭 内訳：オス46頭、メス73頭（うち妊娠4頭）
未手術数	0頭
死亡数	0頭
処置内容	不妊手術、ノミダニ駆除、ワクチン接種、耳カット

	オス	メス(うち妊娠)	耳カットのみ	計
9月26日	4	14	0	18
9月27日	12	23 (2)	0	35
9月28日	14	18 (2)	0	32
9月29日	16	18	0	34

「壱岐市さくらねこ TNR プロジェクト」
報告書はこちら



第二回 2024年12月～2025年3月

第一回終了後、壱岐市と協議を重ね、新プロジェクト「イキイキさくらねこTNR」を2024年12月～2025年3月の4か月にわたって実施。12月の手術会場には篠原一生壱岐市長も視察に訪れました。

搬入数	520頭
手術対象	520頭
手術実施数	520頭 内訳：オス214頭、メス304頭（うち妊娠48頭）、耳カットのみ：2頭
未手術数	0頭
死亡数	0頭
処置内容	不妊手術、ノミダニ駆除、ワクチン接種、耳カット

	オス	メス(うち妊娠)	耳カットのみ	計
12月 (18日～21日)	52	68 (3)	0	120
1月 (26日～29日)	67	82 (3)	1	150
2月 (19日～22日)	45	76 (11)	0	121
3月 (8日～11日)	50	78 (31)	1	129

「イキイキさくらねこTNR」の
実施報告はこちら



1年間の延長が決定

長崎県は犬猫の殺処分率や殺処分率において常に上位に入っており、残念ながら、現在の壱岐市はその長崎県のなかでも殺処分率が多い自治体となります。島外の動物病院に運んで不妊手術を行うにも限界があり、未手術の飼い猫からの繁殖も深刻化するなど猫の数は増えるばかりです。そのような現状を変えたい!と本気で願う壱岐市の熱意に応え、1年間のプロジェクト継続が決定しました!

2025年2月、壱岐市とエンゲージメントパートナー協定を締結

壱岐市は、同市に貢献しようとする企業団体等とともに、あるべき未来像に向けて、双方の特長を活かし共創していくことを目的として「壱岐市エンゲージメントパートナー制度」を設けています。今回のプロジェクトによって無料で不妊手術を受けた猫は639頭、第二回の実施時には篠原一生壱岐市長も視察に訪れ、このプロジェクトが壱岐島の猫問題解決に効果的であることを実感していただくことができました。こういった島内での活動を評価いただき、エンゲージメントパートナー協定の締結につながりました。



voice

いまだ救済の声は途切れず活動の継続が必要

壱岐市長 篠原 一生様

どうぶつ基金および獣医師・地元ボランティアの皆様のご協力により、「日本最古のイエネコの島」“壱岐”でこれまでに639頭のさくらねこを誕生させることができました。しかし、いまだ市民からの救済依頼の連絡は途切れず、人と猫がより良い関係を取り戻すためにTNR活動の継続が必要です。今後もどうぶつ基金のお力添えをいただき、行政・ボランティア・市民の方々が一体となってTNR活動に取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術

2024年度は**50,288**頭の
さくらねこ無料不妊手術を行いました。



2023年度、猫の殺処分数は全国で6,899頭でした。保健所やセンターに持ち込まれた所有者不明猫のうち85%が生まれて間もない幼齢猫でした。生まれてスグに殺される。そんな悲劇は、不妊手術さえしていれば起きなかったのです。どうぶつ基金では、不妊手術が殺処分ゼロへの最も有効な手段と考えています。2024年度は50,288頭の猫に不妊手術を実施しました。

※実施頭数は2025年4月30日時点の集計による

登録行政数 **542**件 一般梓協働ボランティア(のべ) **9,960**人 協力病院数 **207**病院
出張手術の回数と手術頭数(総数) **3**回(香川県、三重県) 累計**761**頭

2024年度登録行政一覧(542団体) (2025年3月31日現在)

【北海道】美幌町／中富良野町／羅臼町／後志総合振興局／乙部町／羽幌町／北見市／上砂川町／石狩市／佐呂間町／帯広市／岩内町／古平町／新ひだか町／倶知安町／占冠村／蘭越町／夕張市営住宅管理センター／名寄市／登別市／初山別村／苫小牧市／室蘭市／苫前町／中札内村／むかわ町／江別市／千歳市／根室社会福祉協議会／共和町／森町／小樽市／北海道軽種馬振興公社／仁木町 【青森県】八戸市保健所／鯉ヶ沢町／五所川原市／南部町／青森市／東北町／十和田市／三戸町／五戸町 【秋田県】八峰町 【岩手県】一関市／遠野市 【宮城県】塩釜保健所 岩沼支所／仙南保健所／東松島市／大崎保健所／石巻保健所／利府町／気仙沼保健所 【福島県】楳葉町／二本松市／いわき市／白河市／広野町 【茨城県】境町／東海村／利根町／水戸市動物愛護センター／五霞町／土浦市／桜川市／鹿嶋市／古河市／太子町／神栖市／小美玉市／笠間市／北茨城市／阿見町／潮来市／行方市／筑西市／茨城町／八千代町／常総市／下妻市／かすみがうら市／日立市／稲敷市／坂東市／取手市／高萩市／龍ヶ崎市／大洗町／鉾田市／石岡市／常陸大宮市／那珂市／ひたちなか市 【栃木県】野木町／小山市／足利市役所 【群馬県】みなかみ町／長野原町／嬬恋村／中之条町／沼田市／吉岡町／大泉町／富岡市／桐生市／甘楽町／伊勢崎市／下仁田町／渋川市／安中市／前橋市／藤岡市 【埼玉県】寄居町／三芳町／草加市／鴻巣市／春日部市／伊奈町／川口市保健所／志木市／越生町／さいたま市動物愛護ふれあいセンター／滑川町／美里町／上里町／川島町／白岡市／杉戸町シルバー人材センター／新座市／熊谷市／嵐山町／八潮市／朝霞市／飯能市／深谷市／日高市／ふじみ野市／所沢市／松伏町／久喜市／富士見市／羽生市／鳩山町／加須市／幸手市／杉戸町／越谷市／小川町／神川町／和光市／毛呂山町／ときがわ町／行田市／東松山市／川越市保健所／吉川市／坂戸市／三郷市／吉見町／入間市／宮代町／浦和競馬組合／本市市 【千葉県】東金市／八街市／大網白里市／香取市／栄町／習志野市／富里市／成田市／白井市／八千代市／野田市／袖ヶ浦市／我孫子市／千葉市動物保護指導センター／市川市／君津市／富津市／長生村／多古町／一宮町／柏市動物愛護ふれあいセンター／松戸市／白子町／長柄町／株式会社日比谷アメニス東関東支店／流山市／四街道市／佐倉市 【東京都】昭島市／檜原村／日の出町／東久留米市／中野区保健所／府中市／東村山市／瑞穂町／清瀬市／武蔵村山市／福生市／青梅市／あきる野市／八王子市／日野市／多摩市／三鷹市／中央区保健所／小平市／西東京市／調布市／奥多摩町／狛江市／東大和市 【神奈川県】開成町／南足柄市／藤沢市／平塚市／松田町／中井町／綾瀬市／真鶴町／小田原市／寒川町／茅ヶ崎市／大磯町／厚木保健福祉事務所／厚木保健福祉事務所大和センター／湯河原町／座間市／横浜須賀動物愛護センター／箱根町 【新潟県】津南町／佐渡市 【富山県】富山県動物管理センター／氷見市 【山梨県】昭和町／韭崎市／中央市／上野原市／西桂町／市川三郷町／甲府市／甲斐市／鳴沢村／山梨市／忍野村／身延町／甲州市／笛吹市／南部町／富士吉田市／南アルプス市／大月市／山中湖村／富士河口湖町／都留市 【長野県】塩尻市／朝日村／生坂村／上田市武石地域自治センター／松川村／飯田保健所／山ノ内町／木島平村／坂城町／佐久穂町／東御市／長和町 【岐阜県】各務原市／八百津町／御嵩町／富加町／白川町／土岐市／坂祝町／笠松町／下呂市／高山市／川辺町／本巣市／可児市／岐阜県健康福祉部 【静岡県】南伊豆町／沼津市／伊東市 【愛知県】清須市／東郷町／刈谷市／豊明市／弥富市／南知多町／知多市／豊山町／美浜町／知立市／犬山市／西尾市／北名古屋／一宮市保健所／安城市／武豊町／新城市／江南市／常滑市／半田市 【三重県】名張市／三重県動物愛護推進センターあすまいる／伊賀保健所／多気町／伊賀市／大紀町 【滋賀県】豊郷町／甲良町／愛荘町／高島市／長浜市／堅田漁業協同組合／矢橋帰帆島公園／多賀町／彦根市／草津市 【京都府】長岡京市 【大阪府】堺市／大阪港湾局／高槻市／吹田市／四條畷市／泉南市／大阪市中央卸売市場本場／大阪府民の森／熊取町／忠岡町／岬町／田尻町／高石市／大阪狭山市／河内長野市／和泉市／大泉緑地管理事務所／岸和田市／島本町／枚岡公園管理事務所／山田池公園管理事務所／浜寺公園管理事務所／八幡屋スポーツパークセンター／大阪学院大学／深北緑地管理事務所／泉大津市／太子町／守口市／三ノ瀬公園／柏原市／河内町／阪南市／門真市／大阪府営寝屋川公園／羽曳野市／大東市／松原市／花園中央公園／貝塚市／久宝寺緑地管理共同体／泉佐野市／寝屋川市／藤井寺市 【兵庫県】猪名川町／相生市／西脇市／伊丹市／豊岡市／播磨町／尼崎市動物愛護センター／川西市／香美町／太子町／鳴尾浜臨海公園／新温泉町 【奈良県】大淀町／河合町／黒滝村／香芝市／明日香村／三宅町／葛城市／田原本町／王寺町／高取町／五万人の森公園／桜井市／御所市／五條市／川西町／橿原市／宇陀市／三郷町／大和郡山市／斑鳩町／大和高田市／天理市／奈良市 【和歌山県】高野町／かつらぎ町／橋本市／新宮保健所 【岡山県】鏡野町 【鳥取県】日野町／南部町／日南町 【島根県】出雲市 【山口県】下関市 【高知県】高知県立美術館 【香川県】三豊市／観音寺市 【福岡県】宇美町／苅田町／大木町／うきは市／大刀洗町／みやこ町／久留米市／太宰府市／小都市／芦屋町／大牟田市／遠賀町／新宮町／吉富町／大川市／みやま市／篠栗町／柳川市／志免町／広川町／古賀市／大野城市／筑後市／那珂川市／八女市／筑紫野市／飯塚市／宗像市／行橋市／福津市 【佐賀県】唐津市／武雄市／鳥栖市／基山町／多久市／上峰町 【長崎県】壱岐市／大村市／長崎市 【熊本県】玉名市／大津町／和水町／宇土市／菊池市／合志市／荒尾市／熊本市動物愛護センター／南関町／長洲町／菊池保健所 【宮崎県】日之影町／門川町／都農町／宮崎県動物愛護センター／新富町／五ヶ瀬町／小林市／都城市／延岡市／国富町／三股町／美郷町／木城町／高千穂町／日南市／日向市 【鹿児島県】南さつま市／指宿市／薩摩川内市／垂水市／枕崎市／肝付町／南九州市／長島町／鹿屋市／出水市／西之表市／三島村／霧島市／曾於市／始良市／さつま町／阿久根市／湧水町／志布志市／伊佐市／いちき串木野市／鹿児島市保健所／十島村／日置市 【沖縄県】粟国村／伊是名村／宮古島市／中山区公民館／那覇市／西原町／座間味村／八重瀬町／金武町／北谷町／うるま市／浦添市／南城市／那覇市地域包括支援センター松川／沖縄県総合運動公園／今帰仁村／渡嘉敷村／与那原町／宜野座村／北中城村／安部区／中城村／嘉陽区公民館／名護市／豊見城市／嘉手納町／伊江村／沖縄市／宜野湾市／読谷村／沖縄県中部土木事務所／宜野湾海浜公園／本部町／南風原町／恩納村／糸満市

どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。



即行

スグやる

猫は1年に3回出産することができ、1度に5～7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追いつけません。



徹底

全部やる

90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。



継続

続ける

100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

さくらねこTNR

(TNR先行型地域猫活動)

「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。



捕獲して



不妊手術をしてさくら耳カット



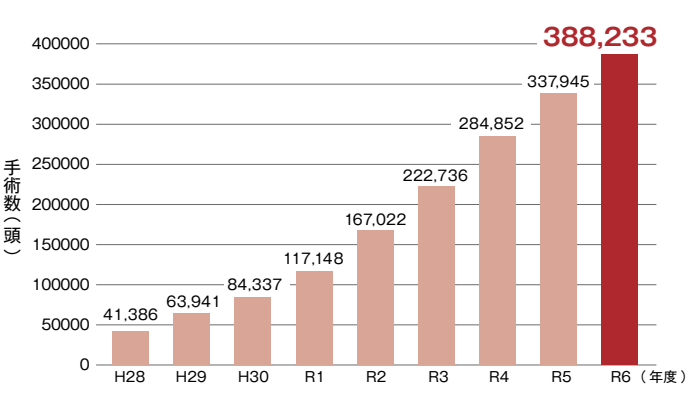
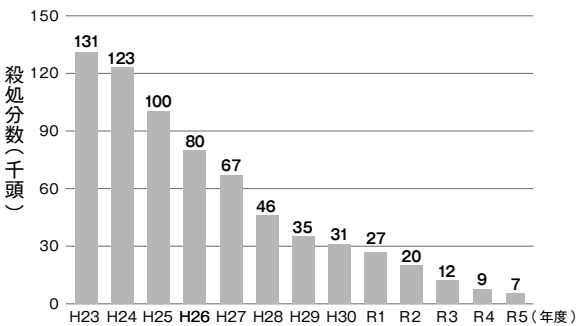
元場所に戻す

TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術をしてさくら耳カット)リターン(元場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNRの実績豊富な獣医師や専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

どうぶつ基金さくらねこTNR数累計

全国の猫の殺処分数の推移

環境省HPより令和6年度 環境省調べ



1,282組の協働ボランティアが14,868頭の猫を保護・里親探しをしました。

さくらねこTNRは猫を捕獲して(Trap)不妊手術をして(Neuter)元いた場所に戻す(Return)ことが原則なのですが、多頭飼育崩壊や疾病、元いた場所の環境が劣悪など、さまざまな事情によりどうしても元いた場所にリターンできないことがあります。そんな時は協働ボランティアが保護して里親探しをする場合があります。ボランティアはほかに保健所で殺処分される猫の引き取りもしています。どうぶつ基金の1,282組の協働ボランティアは1年間に14,868頭の保護・里親探しをしました。

協働ボランティアとは？

どうぶつ基金の活動を共に支え、殺処分ゼロを目指す仲間たちのことです。協働ボランティアの多くはTNRのT(捕獲)とR(リターン)とその後の動物の世話を行います。なかには出張手術にボランティアとして参加する獣医師や愛玩動物看護師もいます。ほかにも、パソコン、翻訳、デザイナー、マーケティング戦略など、仕事を通じて培ったスキルを活用してプロボノ参加する方や企業もいます。どうぶつ基金の活動は共に殺処分ゼロを目指すボランティアとの協働によって成り立っています。

※ボランティア参加の応募はHPから受け付けています。



ヒトも動物も救う、 それがどうぶつ基金の多頭飼育救済。

多頭飼育崩壊の現場は想像を絶するほど悲惨です。糞尿やゴミであふれかえり、清潔な水も十分な餌もない、ケガも病気も放置され、子猫や子犬が産まれては死んでいく。

まさに地獄のような環境で生きることを余儀なくされた猫や犬を救うための最初の一步、それは全頭の不妊手術です。繁殖を止めることで、飼い主に考える・行動できる時間を与え、関係者のサポートのもと生活を立て直してもらう。どうぶつ基金の多頭飼育救済は、ヒトと動物を同時に救うための支援であり、ボランティアの二次崩壊の防止にも役立っています。



2024年度、どうぶつ基金が実施した多頭飼育救済支援は61件でした。平均すると1カ月に6件もの支援を行ったことになりませんが、この61件は氷山の一角です。逃げ出すこともできず、空腹や苦痛に耐える日々を過ごす犬や猫たちは全国に数えきれないほどいます。

多頭飼育崩壊は貧困や心の病が一因であることも多く、動物福祉だけではないアプローチが必要です。解決するには行政の関与が必要不可欠であり、官民協働でこの大きな社会問題に取り組んでいかなければなりません。

環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン ～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」



voice

北海道後志総合振興局

飼養者が管理できる頭数のうちに何らかの対応ができるよう、多頭飼育状況把握のための地域関係者のネットワーク構築の必要性など、未然防止につながる取り組み強化の必要性を感じた。また、飼養者の病気による突発的な対応となった本件では、動物愛護推進員の協力なくしては対応できなかったものと考えており、今後はさらに緊密な連携を確保していくとともに、動物愛護推進員が活動しやすい環境作りをさらに整備していくことが必要と考えている。

茨城県神栖市

不妊手術に対して当事者の理解を得ることが難しく、多頭飼育が発覚してから手術を実施するまでに時間を要してしまい、不衛生な環境のためか、当初手術を想定していた猫が亡くなってしまった。今回の事例を課内で周知し、多頭飼育問題に対して迅速な対応がとれるよう努めていきたい。

鹿児島県薩摩川内市

初めての多頭飼育救済支援の取り組みだったが、ボランティア団体や保健所と協力して行うことができた。手術前に子猫が1頭亡くなってしまったことは残念だが、その他の猫はすべて手術することができ、当事者も安心したようだった。しかし、市内に協力病院がなく遠方の協力病院へ運搬することとなり、猫の負担も大きかったと思われる。今後は、市内病院への協力病院登録のお願いや事前に向診の相談をするなどの対応をしていきたい。

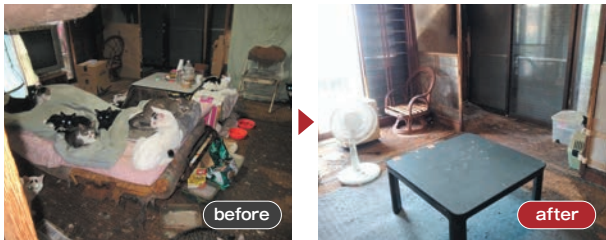
山梨県甲州市

当事者とボランティア、市役所の連携がスムーズにいき、無事に多くの猫の手術を終えることができた。ただ、当事者の不妊手術の重要性の認識が欠けていたことにより、多頭飼育救済申請に至ってしまったため、引き続き、行政・ボランティアによる市民への周知などが必要と感じている。

多頭飼育救済支援事例



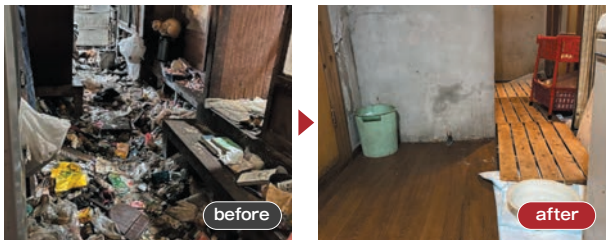
群馬県桐生市



山梨県甲州市



鳥取県日野市



鹿児島県南九州市



2024年度 多頭飼育救済累計表 (2025年3月31日現在)



申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
滋賀県長浜市	11	13	0	24
群馬県伊勢崎市	7	6	0	13
群馬県安中市	8	5	0	13
青森県五戸町	4	14	0	18
福岡県久留米市	7	5	0	12
東京都八王子市	1	5	0	6
鹿児島県霧島市	0	0	0	0
群馬県桐生市	26	20	0	46
福島県白河市	3	7	0	10
埼玉県三郷市	5	9	0	14
富山県富山市	5	5	0	10
北海道倶知安町	14	3	0	17
茨城県日立市	1	3	0	4
青森県五戸町	5	9	0	14
鹿児島県枕崎市	7	6	0	13
埼玉県吉見町	5	13	0	18
千葉県君津市	7	8	0	15
福岡県宇美町	2	4	0	6
鹿児島県霧島市	6	12	1	19
北海道苫小牧市	8	12	0	20
埼玉県鴻巣市	34	34	0	68

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
鹿児島県鹿児島市	3	3	0	6
福岡県宗像市	11	5	0	16
埼玉県羽生市	11	9	0	20
群馬県前橋市	3	3	0	6
鹿児島県鹿屋市	6	8	0	14
鹿児島県薩摩川内市	24	8	0	32
北海道苫小牧市	5	2	0	7
茨城県神栖市	1	5	0	6
埼玉県さいたま市	7	2	0	9
北海道目梨郡羅臼町	30	19	5	54
鹿児島県霧島市	7	1	0	8
北海道中富良野町	4	10	0	14
鹿児島県南さつま市	14	11	0	25
鹿児島県鹿屋市	7	11	0	18
群馬県みなかみ町	0	0	0	0
鹿児島県阿久根市	12	18	0	30
山梨県甲州市	16	15	1	32
福岡県大木町	4	6	0	10
神奈川県小田原市	0	0	0	0
福岡県那珂川市	15	15	0	30
北海道むかわ町	19	21	0	40

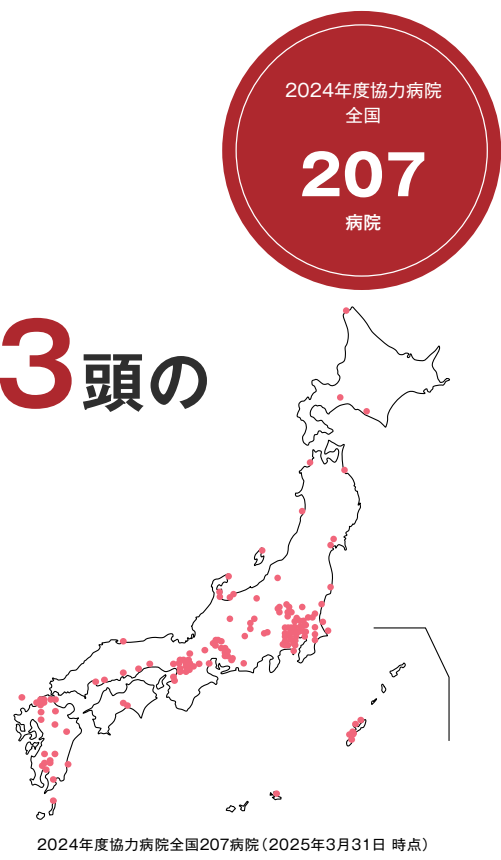
申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
沖縄県沖縄市	5	11	0	16
鹿児島県薩摩川内市	22	24	4	50
茨城県稲敷市	12	4	0	16
滋賀県長浜市	2	2	0	4
鹿児島県霧島市	3	2	0	5
和歌山県高野町	10	20	0	30
鹿児島県鹿児島市	4	6	0	10
茨城県阿見町	12	13	0	25
青森県東北町	26	29	0	55
福岡県宗像市	0	4	0	4
鹿児島県阿久根市	16	14	0	30
鹿児島県鹿児島市	10	15	0	25
鹿児島県南九州市	7	14	0	21
鹿児島県霧島市	18	21	1	40
鳥取県日野町	14	6	0	20
福岡県大木町	0	1	0	1
茨城県下妻市	5	4	0	9
埼玉県川口市	11	12	0	23
和歌山県かつらぎ町	1	1	0	2

全国の協働ボランティアと協力病院

これまでに**388,233**頭の
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、これまでに388,233頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

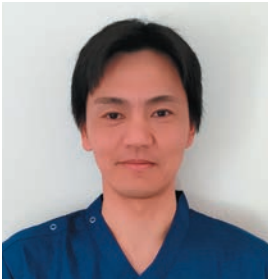
※累計頭数は2025年4月30日時点の集計による



2024年度協力病院全国207病院（2025年3月31日 時点）

北海道 江別市 Mobile VET Office 沙流郡 るぼんず 千歳市 新千歳動物病院 稚内市 稚内動物病院	千葉県 鎌ヶ谷市 まごめ動物病院 市川市 JUN動物病院 習志野市 カンパ動物病院 幕張医院 松戸市 新松戸どうぶつ病院 成田市 Luna spay clinic 奈土診療所 船橋市 カンパ動物病院 船橋習志野医院 袖ヶ浦市 ふー動物病院 袖ヶ浦 銚子市 いながき動物病院銚子分院 東金市 いながき動物病院東金分院 柏市 カモミール動物病院 柏市 くわじま動物クリニック 茂原市 石井獣医科 野田市 みつば動物病院 流山市 カモミール動物病院 おおたかの森医院	東京都 葛飾区 のんのスベイクリニック 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん 江戸川区 モネ動物病院 江戸川区 平井動物病院 狛江市 フルヤ ペットクリニック 渋谷区 フェンネル動物病院笹塚本院 青梅市 ふう動物病院 足立区 大師前どうぶつ病院 大田区 一二三動物病院 大田区 ウルトラ動物病院 大田区 いまい動物病院 大田区 西馬込動物病院 中野区 フェンネル動物病院 町田市 明和動物愛護病院 調布市 飛田給動物病院 調布市 調布動物医療センター 調布市 くるみ動物病院 東大和市 湖畔どうぶつ病院 日野市 たかはた動物病院 日野市 きもと動物病院 八王子市 八王子mocoどうぶつ病院 武蔵野市 グリーンパーク動物病院 武蔵野市 三鷹獣医科グループ 武蔵野市 ひだまり動物病院吉祥寺 福生市 福生動物病院 立川市 おおにし動物病院	神奈川県 愛甲郡 VOC外猫診療所 横須賀 川畑動物病院 横須賀市 小川動物病院 横浜市 ライラック動物病院 新山下医院 横浜市 ブルーム動物病院 横浜市 さかい犬猫クリニック 横浜市 いなば動物病院 茅ヶ崎市 萩園どうぶつ病院 茅ヶ崎市 まつうら動物病院 三浦市 みさきクローバー動物病院 三浦市 三崎動物愛護病院 小田原市 swingどうぶつ病院 川崎市 ヒナギク動物病院 川崎市 ヴィータ動物病院 相模原市 ふー動物病院 相模原市 陽光台グランベッツ動物病院 大和市 山口獣医科病院 中郡 かざしっぽクリニック 茅ヶ崎市 さくら動物病院 川崎市 登戸動物医療センター 横須賀市 アイビー動物病院	新潟県 魚沼市 ゆきのくに動物病院 佐渡市 島のどうぶつ診療所	山梨県 甲斐市 ふー動物病院 山梨分院 笛吹市 笛吹どうぶつクリニック	長野県 長野市 しんけん動物病院 飯田市 にじのはしスベイクリニック飯田診療所 上伊那郡 ECOVET'S のらねこの病院 伊那市 伊那竜電動物病院 諏訪市 すわのこ動物病院	富山県 滑川市 滑川さくらねこ動物病院 氷見市 大谷獣医科 富山市 アスラン動物病院	石川県 珠洲市 寺谷内獣医科病院飯田診療室	七尾市 寺谷内獣医科病院	岐阜県 羽島郡 MiMiどうぶつ病院 羽島郡 古田動物病院 羽島市 山下獣医科 各務原市 各務原動物病院 岐阜市 にじのはしスベイクリニック 高山市 にじのはしスベイクリニック高山診療所 各務原市 DCC動物病院 各務原	静岡県 浜松市 TPC浜松動物総合病院	愛知県 岡崎市 アロハ動物病院 岡崎市 ライオン動物病院 江南市 愛北動物病院 江南市 藤ヶ丘動物クリニック 知立市 スベイクリニックトラ知立出張所 日進市 ダイゴペットクリニック日進オハナ院 豊川市 ヤマヒロ動物病院 豊田市 アロハオハナ動物病院かもがわ公園 小動物クリニック 名古屋市 アメニティ動物病院 岡崎市 ダイゴペットクリニック岡崎大和院	大阪府 堺市 堺スベイクリニック 泉南郡 ネコリハほこねこクリニック 大阪市 北堀江動物病院 大阪市 一犬猫病院 大阪市 天神橋/パンビの森どうぶつ病院 池田市 北摂TNRサポート のらねこさんの手術室 豊中市 ゆりの木動物病院	兵庫県 伊丹市 伊丹ねこスベイクリニック 神戸市 どらにゃんクリニック 神戸市 リーベ動物病院 神戸市 のら猫クリニック兵庫 赤穂市 郷司動物病院 尼崎市 動物病院アニマルプラス	鳥取県 米子市 ふじい動物病院	岡山県 岡山市 にじのはしスベイクリニック岡山分院	広島県 広島市 あさ動物病院 福山市 さくらねこクリニック 福山市 りっか動物病院 福山市 りっか動物病院	高知県 高知市 アリスペットクリニック 土佐郡 ろはの子どうぶつ診療所嶺北分院	福岡県 京都郡 はなふさ動物病院 三潴郡 おおき犬と猫の病院 大牟田市 大牟田愛犬クリニック 大野城市 さくらねこ動物病院 福岡市 cat spot clinic 福岡市 なな.猫達のための病院 糟屋郡 ペットプラス動物病院福岡 篠栗町 篠栗動物医療センター 糸島市 にじのはしスベイクリニック糸島診療所 那珂川市 にじのはしスベイクリニック福岡分院 田川市 にじのはしスベイクリニック田川出張所	長崎県 壱岐市 どうぶつ基金病院壱岐島 （プロジェクト専用病院）	宮崎県 日南市 鶴戸どうぶつクリニック 西臼杵郡 どうぶつ基金病院西臼杵 （プロジェクト専用病院） 小林木 はちどりTNR病院宮崎分院	熊本県 菊池郡 あーす動物病院	大分県 日田市 にじのはしスベイクリニック日田診療所	鹿児島県 始良市 加治木動物病院 始良市 帖佐ステラ動物病院 薩摩郡 はちどりTNR病院（さつま町分院） 鹿児島市 くすのき動物病院 鹿児島市 あいん猫と犬の病院 鹿児島市 中原犬猫診療所 鹿児島市 かんまち犬猫クリニック 鹿児島市 ル・オーナペットクリニック 西之表市 はちどりTNR病院種子島分院 日置市 森の動物病院 霧島市 せとがわ動物病院 肝属郡 中村動物病院 始良市 ファミリー動物病院	沖縄県 浦添市 保護猫とつながるクリニック みやうみやう動物病院 宮古島市 宮古島動物病院 中城村 TNRなかくすく 中頭郡 北谷動物医療センター 中頭郡 TNRよみたん 中頭郡 みやざわ動物病院 那覇市 アイリスいぬとねこの病院 豊見城市 豊見城動物高度医療センター 名護市 TNRなご 名護市 名護動物医療センター 国頭郡 伊江村動物医療施設 浦添市 てだこベッククリニック
--	---	---	--	--	--	---	--	---------------------------------	---------------------	--	-------------------------------	---	--	--	---------------------------	-------------------------------------	--	--	--	---	--	---------------------------	--------------------------------------	---	---

ステッカーが目印です！
かわいい「さくらねこマーク」で
協力病院だと一目でわかると、
評判です。



voice
人と猫が共に安心して暮らせる
社会のためTNRの意義を実感
長井 和樹 先生

スベイクリニックの獣医師として多くの野良猫と向き合う中で、TNRの意義を日々実感しています。TNRは単に野良猫の繁殖を防ぐだけでなく、人と猫が共に安心して暮らせる社会を築くための大切な手段だと考えています。どうぶつ基金の事業により、より多くの猫に不妊手術を届けることが可能となり、TNRの輪が確実に広がっていると感じています。一頭一頭に丁寧に向き合いながら、不幸な命をこれ以上増やさないよう、これからも努力を重ねていきたいと思っています。TNRという活動が、より多くの人に理解され、広がっていくことを心から願っています。

11年目に突入した三重県モデル、 たゆまず歩み続ける。

どうぶつ基金では、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫による糞尿被害等の問題の解決に向け、「さくらねこTNR」（TNR先行型地域猫活動）に取り組んでいる三重県と連携し、2014年度から飼い主のいない猫の無料不妊手術等を行っています。また、どうぶつ基金では行政獣医に不妊手術の技術指導を行っています。行政獣医の技術の向上によって、より安全確実な手術が行われるようになりました。

これまでに**3,160頭**のさくらねこがうまれました（2017～2024年度の累計）

本事業の実績

2024年度（全1回） **122頭**（オス55頭、メス67頭、メス（妊娠）0頭、耳カット等のみ0頭）
2023年度（全1回） **109頭**（オス50頭、メス58頭、メス（妊娠）1頭、耳カット等のみ0頭）
2022年度（全1回） **181頭**（オス84頭、メス95頭、メス（妊娠）2頭、耳カット等のみ0頭）
2021年度（全2回） **349頭**（オス162頭、メス181頭、メス（妊娠）4頭、耳カット等のみ2頭）
2020年度（全2回） **375頭**（オス162頭、メス205頭、耳カット等のみ8頭）
2019年度（全3回） **354頭**（オス158頭、メス192頭、耳カット等のみ4頭）

※どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、2017年9月に「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結しました。

2014年にスタートした協働事業は、今年で11年目を迎えました。

問題を解決するには何よりも不妊手術の先行が必要であるということから、三重県はTNR先行型地域猫活動にシフトチェンジを行い、行政とどうぶつ基金の事業は「三重県モデル」という先進の協働となり、継続して実施されています。どうぶつ基金顧問の山口獣医による不妊手術の技術指導も行われており、行政獣医の技術力向上へも貢献しています。三重県とどうぶつ基金はさくらねこTNRのトップランナーとして、これからも官民一体となって殺処分ゼロを目指します。

どうぶつ基金と 行政との協働事業について

一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。



2024年度も多くの方のご支援のもと、 さまざまな活動を行うことができました！

TNRに取り組む自治体応援プロジェクト、 全国113の自治体に捕獲器605台の寄贈が完了！

どうぶつ基金はTNRに取り組む自治体応援プロジェクトとして、「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加している自治体へ捕獲器の寄贈を決定。寄贈を希望した113の自治体に合計605台を寄贈することになりましたが、製造スケジュールの都合により一斉に寄贈することはできず、2023年12月から少しずつ少しずつ発送を続けてまいりました。そして、2024年10月に最後の発送を終え、全605台の捕獲器を寄贈するプロジェクトが完了しました！

今後は地域のTNRのため、フル稼働でご活用いただきたいと思います。



捕獲器がなくて猫がなかなか捕まらない…

捕獲器を貸してくれるところがなくて困っている…

などお困りのことがあれば「どうぶつ基金」の捕獲器をご利用ください！

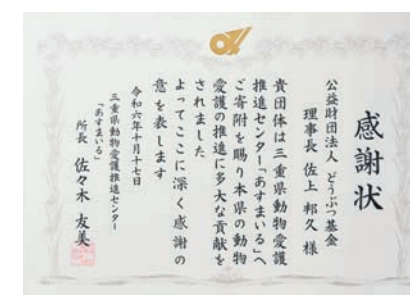
お住いの自治体が寄贈を受けているかはこちらよりご確認くださいませ。
リストに掲載されていたら、ぜひ担当課までお問い合わせください。

寄贈先一覧・寄贈台数は
こちら

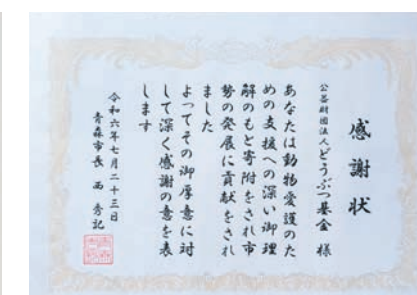


感謝状をいただきました。

さくらねこ無料不妊手術事業に参加している「自治体への捕獲器寄贈プロジェクト」で、捕獲器を寄贈した青森市・三重県・岐阜県から感謝状をいただきました。



三重県から



青森市から



岐阜県から



「いきものが自由でしあわせ」、どうぶつ基金が目指す世界です。動物もひと、同じいきものです。自分たち人間の福祉(しあわせ)を考えるように、動物の福祉も大切です。世界の現場は見ると聞くとでは大違い!世界各地で野生動物の保護、虐待された家畜の保護などさまざまないきものを守る取り組みが行われています。どうぶつ基金ちきゅう部では南極、アマゾン、アフリカ、ボルネオなど世界の活動現場にとび、その実態を皆様にお届けします。



Photo by Sagami

動物は奴隷じゃない。

世界中で、声をあげることもできずに強制的に働かされている動物たちがいます。農業、運搬、観光、見世物、賭博など、人間の欲望のためにさまざまな用途で利用され、自由や尊厳を奪われているのです。

動物たちは決して自分の意志で労働を選んでいるわけではありません。彼らは言葉を持たず抵抗も許されず、まさに奴隷として苦痛を強いられています。また、心ない人間たちによる残酷な虐待や過酷な労働、ネグレクトによって日々傷つけられ、苦しみの中で生きている動物も数多く存在します。競馬で賞金を稼げなくなった馬たち、観光客を楽しませることができなくなった動物たち。その末路は非常に悲惨であり、冷酷な運命が待ち受けています。日本国内でも、多くの動物たちが労働のために利用され、役に立たなくなった途端に無情にも殺されてしまう悲劇が繰り返されています。



Photo by Sagami



Photo by Sagami

どうぶつ基金では食肉として供されるために繁殖される動物や、卵や牛乳を生産するために飼育される動物たちについても、動物のための「5つの自由」が守られるべきだと強く考えています。「どうせ死ぬのだから」という残酷な一生を強いる理由は、決して成り立ちません。私たち人間を含め、すべてのいきものがいつかは死を迎えます。だからこそ、生きている間の苦しみや痛みを軽減し、尊厳ある暮らしを保障することが大切なのです。

水族館、動物園、競馬、サーカス、ふれあい牧場、野生動物との記念撮影など、動物たちが自由を奪われ、苦しむすべての行為に対して、私たちははっきりと「NO」を突きつけなければなりません。どうぶつ基金は、動物の労働や実験を決して許しません。



Photo by Sagami



Photo by Sagami



今後もちきゅう部は、「動物は奴隷じゃない」という強いメッセージを世界に向けて発信し続けます。
動物たちが尊厳を持って自由に生きられる世界を目指し、私たちは絶対に諦めません。

動物のための「5つの自由」とは

- 1 飢えと渇きからの自由:清潔な水と健康を維持するための適切な食餌へのアクセス。
- 2 不快からの自由:適切な環境、避難所、および快適な休息場所の提供。
- 3 痛み、傷害、病気からの自由:予防や迅速な診断・治療を含む医療の提供。
- 4 正常な行動を表現する自由:十分な空間、適切な施設、仲間との交流を通じて本来の行動がとれる環境。
- 5 恐怖や苦悩からの自由:精神的苦痛を避ける取り扱いや環境の提供。

これらの自由は、すべての動物が尊厳と共に生きるための基本的な権利であると、私たちは信じています。

当法人の理事長は、いかなる報酬も受け取ることなく、全活動が無償にて従事しております。また、国内外における不妊手術(出張手術を含む)や、調査・視察等の活動に要する費用(交通費、宿泊費、日当等の実費)についても、すべて理事長個人の負担により賄われており、当法人の予算からの支出は一切ございません。このことは、法人運営における透明性と公益性を確保する観点から、ここに明記いたします。

沖縄に希望の光！ 餌やり禁止条例案、ついに廃案へ みんなの声が、沖縄の未来を変えました。

「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例(案)」の第13条

何人も、飼い主のいない猫に対し、県又は市町村が定める方法によらず、給餌又は給水を行ってはならない。

2024年1月23日、どうぶつ基金は複数の団体・個人とともに、「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例(案)」から第13条の削除を求める要望書を提出。オンライン署名25,750筆、自筆署名2,730筆—このひとつひとつの想いが、沖縄県に届けられました。

署名提出に関する
詳細はこちら



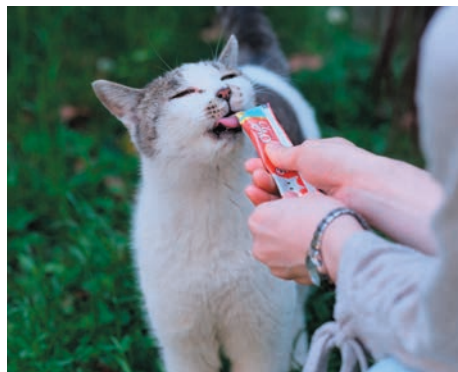
その後、沖縄県議会への条例案提出は見送られ、沖縄県環境部自然保護課とどうぶつ基金の間で意見交換会議が行われました。

沖縄県との意見交換会議に
関する詳細はこちら



そしてついに！

2024年11月、「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例(案)」は廃案となりました！これは、ただの条例撤回ではありません。これは、動物を愛するすべての人の優しさと行動が、未来を変えた証です。



SNSでの拡散、署名活動、寄り添う気持ち—すべてがつながり、沖縄の猫たちを守る道が開かれました。本当に、本当にありがとうございます。

そして沖縄は、「さくらねこ」という美しい呼び名が生まれた特別な場所です。2012年10月、石垣島で行われた大規模TNRの中で、この愛のこもった名前が誕生しました。

それ以来、どうぶつ基金は沖縄を大切な地域として支援し続けています。これは終わりではなく、新しい始まりです。

野良猫たちが、安心して暮らせる未来のために—これからも、皆様とともに歩み続けます。

沖縄県におけるどうぶつ基金の活動の歴史 (大規模一斉TNR 実施実績)

2012年
石垣市(サザンゲート公園) 171頭

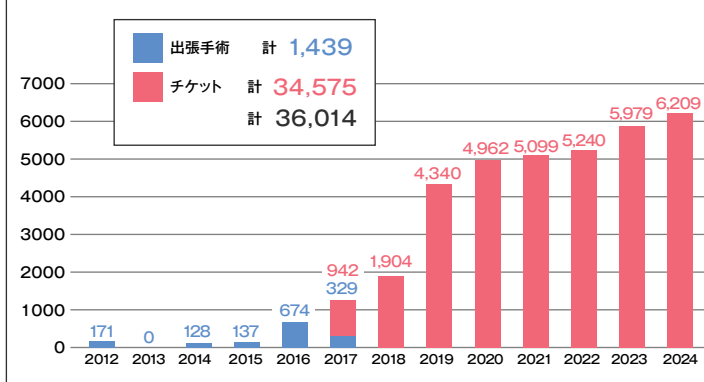
2014年
沖縄総合運動公園 128頭

2015年
名護市(21世紀の森公園) 137頭

2016年
すんどうー!沖縄さくらねこTNR(全4回) 674頭

2017年
うるま市、北谷町(うるま市役所石川庁舎) 329頭

沖縄県における2024年度までの無料不妊手術実施実績

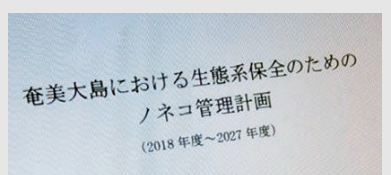


税金で尊い命を奪わないで— 「ノネコ管理計画」に断固反対！

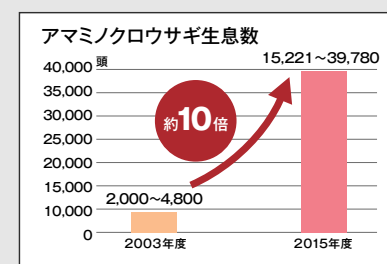
奄美大島—美しい自然と命が息づく世界遺産の地。そんな場所で、3,000頭もの猫が捕獲され、殺処分されようとしています。「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」は2018年度から進められていますが、この計画は科学的根拠もなく、ただ命を奪うものに他なりません。どうぶつ基金は、この「税金を使って命を奪う非人道的な計画」に断固として反対し、自然と動物が共存できる真の保全策を求めています。どうか、失われようとしている命の叫びに耳を傾けてください。

「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」って？

アマミノクロウサギなどの固有種を守るという名目のもと、何百年の間、奄美大島で固有種と共存してきた猫たちを「ノネコ」と呼び、2018年度から10年間にわたって3,000頭もの猫を捕獲・殺処分する計画が進行中です。ずさんな調査に隠されたデータ、この計画の根拠が揺らいでいるにもかかわらず、環境省は計画を見直すことなく突き進んでいます。この島で紡がれるはずの無数の命の物語が、静かに、しかし確実に途絶えようとしています。



「あまみのさくらねこ」
これまでの
活動について



この計画では守るべき希少種も犠牲に！

■ノネコ管理計画における、これまでの混獲致死数

混獲数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
ハシブトガラス	147	435	217	104	145	108	1,156
アマミトゲネズミ	0	244	13	0	1	0	258
クマネズミ	15	147	36	15	6	1	220
アマミノクロウサギ	1	5	2	8	11	5	32
ケナガネズミ	3	4	4	9	7	9	36
シロハラ	0	10	0	4	5	0	19
リュウキュウイノシシ	0	1	0	0	6	1	8
リュウキュウコノハズク	0	0	0	0	0	1	1
オットンガエル	0	3	1	2	1	1	8
ハブ	0	2	1	1	0	0	4
イヌ	0	1	2	0	0	3	6
ルリカケス	1	0	0	0	1	3	5
ニワトリ	2	0	0	0	0	0	2
サシバ	0	1	0	0	0	0	1
ネズミsp.	0	1	0	0	0	0	1

混獲致死数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
ハシブトガラス	1	4	2	1	1	0	9
アマミノクロウサギ	0	0	0	0	0	1	1
アマミトゲネズミ	0	2	0	0	0	0	2
クマネズミ	0	1	1	0	0	0	2
ネズミsp.	0	1	0	0	0	0	1
シロハラ	0	1	0	0	0	0	1

※赤字が希少種・天然記念物

どうぶつ基金は絶対あきらめない

この計画のもと捕獲された猫は、現時点で1頭も殺処分されていません。それは、「1頭も殺させない」という強い意志をもって活動しているボランティア団体のおかげです。どうぶつ基金は、猫3,000頭を駆除殺処分する「ノネコ管理計画」が中止になるまで粘り強く活動を続けます。私たちは、絶対にあきらめません。

2024年度 メディア掲載・放映一覧 (2025年3月31日 現在)



掲載数	新聞掲載
6回	
2024 8 / 29	朝日新聞 増える猫 減る島民 共生の道は
2024 10 / 2	長崎新聞 沓岐の課題解決へ道筋を
2024 10 / 4	沓岐新聞 早期解決向け1千頭を目標に
2024 10 / 25	沓岐新報 野良猫の繁殖にストップを
2025 1 / 24	沓岐新報 石田町でどうぶつ基金がTNR活動
2025 2 / 28	沓岐新報 どうぶつ基金と協定締結

放送数	WEBニュース
2回	
2024 10 / 5	沓岐新聞 早期解決向け1千頭を目標に 猫119頭に不妊去勢手術、12月に第2回予定
2025 2 / 16	@DIME 不幸な命をこれ以上増やさない! どうぶつ基金「宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト」の新しい試み

掲載数	ウェブニュース掲載
601回	一覧が(一部)ご覧になれます



掲載数	PR TIMES掲載
20回	一覧がご覧になれます。



2025年 2月16日 @DIME



2024年10月4日 沓岐新聞



2024年10月25日 沓岐新報



2024年10月5日 沓岐新聞WEBニュース



2024年8月29日 朝日新聞

買わずに飼ってね!

いのちつないだ♡ワンニャン写真・動画コンテスト

いきものが自由でしあわせ。

すべての犬や猫が幸せに暮らせる世界を目指してスタートしたコンテストは、今年で15回目を迎えました。幸せになったワンちゃん・ネコちゃんの姿は、消えかかった命の火をつなぎ、その小さな命とともに生きる喜びと素晴らしさを私たちに教えてくれます。保護犬や保護猫の里親になることや、地域猫のお世話をすること。命を買わない選択肢があることを多くの方々に知っていただき、1頭でも多くの犬猫が幸せをつかむきっかけにしたいと考えています。私たちは走り続けます!最後の1頭が幸せになるその日まで。

応募総数

2,038点



■ 環境大臣賞
ランタナのかげに

海辺のエリアには、毎年カラフルなランタナが咲きます。白猫でオッドアイのミルクちゃんが、ランタナのかげにいました。とても神秘的で美しかったです。



voice

これからも成長を見守り続けます

増田 充子 様

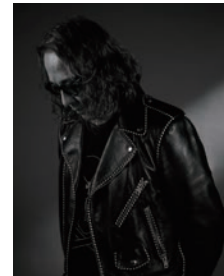
この度は環境大臣賞をいただきありがとうございます。毎年応募していたどうぶつ基金の写真コンテストで、環境大臣賞という最高の賞をいただき夢のようです。写真のミルクちゃんは2年程前に尿路結石になってしまったため、餌やりさん仲間で他の猫達とは別に療養食を毎回与えています。そのお陰もあってか行くといつも元気に出て来てくれます。ミルクちゃんのいる場所は海辺のエリアでランタナも毎年咲いており、兄弟達と仲良く隠れたりして遊んでいます。選ばれた写真はそんな瞬間を撮影したものです。色々なことがあったミルクちゃんの写真での受賞に、餌やりさん達も皆とても喜んでくれました。まだ若いミルクちゃん。元気に長生きしてほしいです。

Judge's comment

幸せに過ごせる環境の広がり願う

今回の写真コンテストでは、たくさんのニャンコ・ワンコたちの表情に心を打たれ、同時に深く考えさせられました。これからも一頭でも多くの命が救われ、彼らが安心して幸せに過ごせる環境が広がることを、心から願っています。

■ 審査委員長
GLAMOROUS co.,ltd.
代表 森田 恭通
Photo by Emma Amber



幸せと嬉しさ溢れる感動的な写真の数々

今年もたくさんの素晴らしい写真を拝見させていただきました。今年は、これまで以上に作品のクオリティが高く、どの作品も受賞に相応しく、優劣をつけるというものではありませんでした。ワンコ部門では、季節の風景の美しさと、幸せと嬉しさが溢れ出すような犬たちの姿が、印象的でした。ニャンコ部門は、お家でのふとしたかわいい瞬間を見逃さないで、写真に収められた飼い主さんのあたたかい視線を感じました。さくらねこ部門は、猫と背景の色合いが調和したドラマチックな作品が多く、とても感動的でした。

■ 特別審査委員
ハニハジメプロダクツ
ハニー



深い絆を感じる心豊かな時間

今回の写真たちも大変魅力的で素晴らしいものが観れました。映されている子達の表情を見れば、撮影者との深い絆が結ばれているのがよくわかります。どの写真も愛に溢れていて観ているだけで心癒される豊かな時間を過ごさせて頂きました。たくさんのご応募ありがとうございます。とても美しいものを観る事が出来ました。

■ 特別審査委員
JUNICHI



幸せとあたたかさが伝わり心動かされる

環境大臣賞は、私も画家としてオッドアイの白猫さんを何度も描いております。この猫さん、とても綺麗なオッドアイの猫さんです。大阪府知事賞は、幸せな時間。猫さんたちの美味しそうな声が聞こえてきます。審査員特別賞は、過酷な環境の中、温かな方と出会えてよかったです。理事長賞は、その後の猫たちの元気な姿が楽しみです。

■ 特別審査委員
べべ島田



写真展が全国で行われました。

大阪府	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ
福岡県	大野城市	まどかびあ
茨城県	東海村	みんなの居場所たねとまり
和歌山県	橋本市	和歌山県立橋本体育館
奈良県	五條市	五條市役所
茨城県	つくば市	みんなの居場所たねとまり
東京都	練馬区	アオバジャパン インターナショナルスクール



作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか?どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。どうぶつ基金ウェブサイトよりお申し込みください。



啓発素材のフリー提供

どうぶつ基金では、フライヤーやポスター等、活動・啓発資料を無料提供しています。

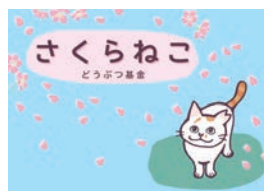
フライヤー・ポスター等
提供はこちら。



絵本がeBookで
ご覧になれます。



さくらねこ絵本が
大好評



行政とボランティアがつなぐ「命のリレー」。

犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度
1,000頭 × 7,000円 = 7,000,000円 の命支援

殺処分されるはずだった命に、もう一度チャンスを。
 新たな家族と出会える「未来」をつくるために、どうぶつ基金は、保健所等から犬や猫を引き取り、譲渡活動を行う団体や個人活動家の方へ、1頭につき7,000円の助成を行いました。この支援は、全国各地の自治体で進められている「団体等譲渡制度」を活用した取り組みです。行政と民間の垣根を越えて、保健所とボランティアが手を取り合う。その連携があってこそ、救える命があります。



団体等譲渡制度とは？

保健所などの行政施設に収容された犬や猫を、認定を受けた団体・個人が引き取り、新たな飼い主に譲渡する制度です。登録を行えば、誰でも行政とともに命を救う担い手になることができます。
 小さな命にとって、行政とボランティアが協力してくれるということは、「もう一度、家族を持てるかもしれない」という希望そのものなのです。

2024年度 助成実績

- ・再譲渡頭数: **1,000頭**
- ・助成単価: **7,000円／頭**
- ・助成総額: **7,000,000円**

命と笑顔をつないだ物語



「さくら 笑顔」 写真コンテスト応募作品より

5年前のある日、「飼育放棄された8歳の犬がいる」と相談がありました。工場と水路の間の草むら。犬小屋もなく、太い鎖でつながれ、食事は残飯。寒空の下、地面に自分で大きな穴を掘って、うずくまっているその姿に、私は誓いました―「必ずこの子を助ける」と。
 飼い主と話し、保護を実現。見た目ではっきりわかるほどの肥満細胞腫も、無事に手術できました。こんな過酷な環境にいたのに、人を信じる優しさを持つ子です。あれから5年、今は13歳。名前は「おちょ」。今年も一緒に、5回目のお花見ができました。いつまでも元気でいてほしい、それが今の願いです。

写真:山口 次朗「いのちつないだ ♥ワンニャン写真・動画コンテスト」より

voice 今後もシニアや病気の犬猫をレスキューし続ける わんにゃん小梅保育園 塚本 美和 様

当会は長年にわたり、保健所からシニア・病気・雑種の犬猫を主にレスキューしております。重病の子や最近では猫のFIPの医療費が高額で大変なのですが、埼玉県・東京都・川越などの行政では助成金制度もなく医療費や飼育費は年間500万円近くになります。どうぶつ基金の、年に一度の助成金を申請させていただいてとても助かっています。今後も保健所レスキューにお力添えいただければ助かります。

五・七・五・七・七の三十一文字に 猫たちへの想いをこめて。

一生懸命生きた猫への哀悼といたわり、けなげに生きる猫の幸せや安全を願う気持ち、亡くなくてもなお優しい人の心のなかで生き続ける猫。そして「さくらねこ」が当たり前日常の中にいる優しい町の風景。応募作品のなかには、人と猫が互いを尊重して共生する日常が確かにありました。



大賞	山崎好裕賞	佐藤修史賞	佐竹茉莉子賞	理事長賞
審査員評 「哀しさ」からの意外性ある展開に揺さぶられた。人との距離を保ち続けて旅立った子との最初で最後の触れ合いに、懸命に生きた命への労りを感じる。 さくらねこ 初めて抱けた 哀しさよ 看とりて後の 軽き身体を 大久保 みな子様	リヤカーに さくらねこ載す ゆらゆらと 掬いし金魚と 下る坂道 山本 明様	蛇捕らえ 誇らしげなり さくらねこ 伸ばす顔には ブイサインの耳 藤本 周司様	さくらねこのためにごはんをぬるま湯と 早起きできる元気を準備 石井 ちかえ様	久しぶり どこ行つたの さくらねこ 生きててくれて すごくうれしい 水野 美幸様



voice

さくらねこの幸せが日々の励みに

大賞受賞者 大久保 みな子 様

約20年、地味に地域猫のお世話をしていた甲斐があります。小さい頃から猫とは切れたことがありません。今は年齢もあり内猫は二頭に減りました。その分、外猫のお世話も気持ちがかかります。悲しいことが正直多いのですが、彼らが生きていてくれることを励みにしています。近年は心強い猫仲間ができ、お互いに助け合っています。嬉しいです。病気・事故・虐待等々、厳しい外の世界で生きる猫達、外猫に代わって御礼申し上げます。本当の意味でさくら耳の猫に満遍なく春が来て欲しいです。ありがとうございました。

優秀賞受賞作品はこちらから
ご確認ください。



審査員総評

審査員・山崎 好裕



第2回の今回では昨年を遥かに上回るご応募をいただき、審査員として大変嬉しく思っております。短歌は俳句より長い詩型ですが、説明に十分の長さとは言えません。だから、思いを何かの景に託して詠うことが必要で、そこに詩情が生まれてくるのです。さくらねこという美しい日本語を詠み込んだ皆さんの作品を、次回コンテストでも心よりお待ちしております。

山崎好裕 福岡大学教授。代々続く神官の家に生まれ、多くの保護猫に囲まれて育つ。幼時から古典・漢籍に慣れ親しみ、小中学生のころは日記代わりに毎日短歌を詠んでいた。東京大学学生俳句会部長を経て、現在俳誌「天為」同人、俳人協会会員。経済学者としての専門的立場から動物政策について環境省や各地方自治体にアドバイスを行っている。新聞連載を中心に歴史小説家としても活躍中。

審査員・佐藤 修史



2度目のコンテスト。約2,000の作品は力作ぞろいで、一つひとつに目を通しながら何度も膝を打ち、うなった。今回も、「一代限り」という宿命、サクラの花との対比という定番のテーマに挑んだ作品が目立った。それゆえに、違った視点の作品に何度もハッとさせられた。いったん20作品くらいまで絞り込んだものの、そこからの選定はむずかしく、正直、最後はエイヤッと決めた。私も保護猫3頭と暮らし、屋外で生きる猫たちに思いを馳せる1人。このコンテストで、多くのご同輩が飼い主のいない猫をあたたかい目で見守っていることを知ることができ、勇気づけられる。

佐藤修史 1968年生まれ。93年に朝日新聞社に入社し、文化くらし報道部デスク、社会部デスク、週刊朝日編集長などを歴任。現在はフリーで、宮崎市在住。自宅には保護猫が3頭。探検、釣り、ロック、家庭菜園、撮影など多趣味。

審査員・佐竹 茉莉子



情景が目浮かぶような温もりのある作品が多く、それぞれの町に、さくらねこを見守るそれぞれの哀歓があることがしのばれた。管理する人間と管理される猫といった一方的な構図ではなく、共に同じ町に生きる者同士という共感が、どの歌にもしっかり息づいていたのが、何よりうれしい。

佐竹茉莉子 人物や犬猫たちのドキュメントを書き続けるフリーライター。WEB連載に、フェリシモ猫部「道ばた猫日記」、朝日新聞社sippo「猫のいる風景」、辰巳出版WEBコレカラ「保護犬たちの物語」。著書に「猫との約束」「猫は奇跡」など。

物品協賛企業様のご紹介

第2回さくらねこ短歌コンテストでは、2社の企業様にご協賛いただきました。本当にありがとうございました！

有限会社春木屋

山梨県富士吉田市にあるスペシャルティコーヒーのお店。「さくらねこTNR」の支援を目的として、2021年6月から現在までずっとご支援いただいています。コーヒー好き、猫好きなあの人へのプレゼントに最適!ご購入は右のQRコードから。

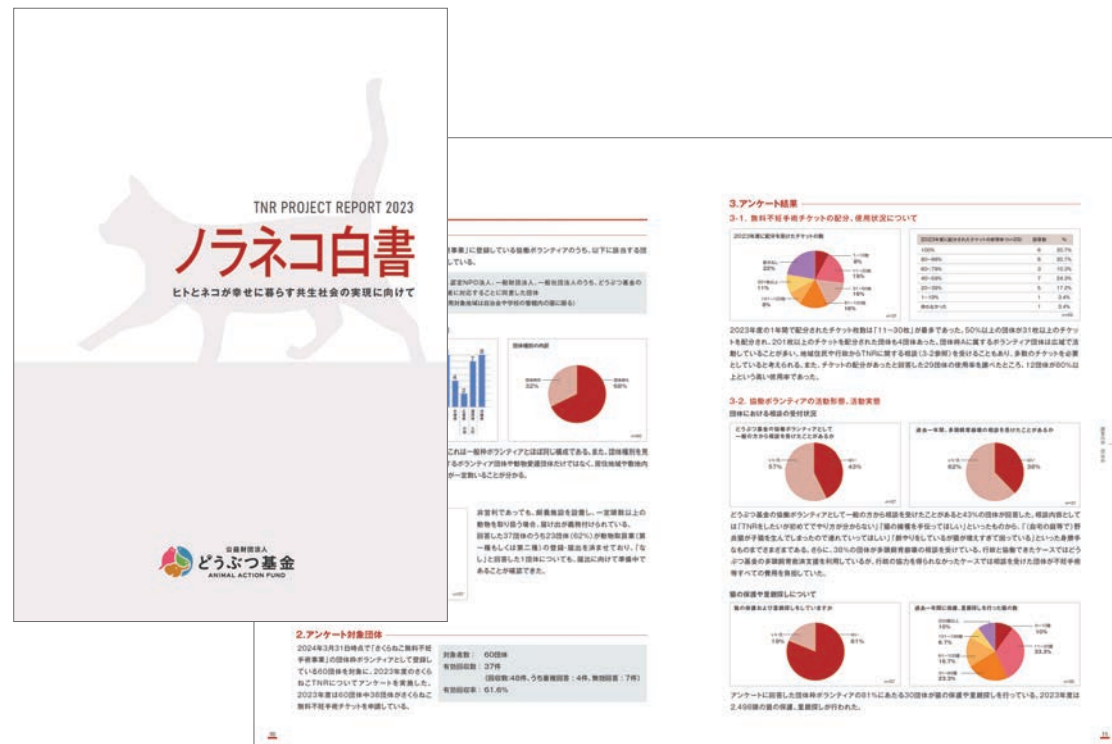


信州吉野電機株式会社

長野県塩尻市にあるプラスチック成形などを手掛ける企業様です。「さくらねこTNR」にご賛同いただき、桜色の猫が5頭集まった可愛い「マグネット桜猫」の販売を通じてご支援をいただいています。ご家庭やオフィスで「マグネット桜猫」は大活躍!ご購入は右のQRコードから。



TNRの動向と実情、今後の展望をまとめた「ノラネコ白書」を刊行しました。



どうぶつ基金では、「さくらねこ無料不妊手術事業」に協働ボランティアとして参加している自治体、民間団体(自治会等含む)、個人に対して毎年アンケートを行い、その結果を公表しています。今回、新たな試みとして、アンケート結果をもとにTNR活動の動向と実状、今後の展望をまとめたレポート「ノラネコ白書」を刊行しました。

TNRに関するデータや事例を広く紹介することで、本白書がTNRに対する理解を深めるものとなり、また、猫問題の対策に悩む自治体の一助となることを目的としています。ぜひご覧ください。



自治体や協力病院など810冊を配布

TNR活動への理解促進と積極的な取り組みを促すため、地方自治体(都道府県・指定都市・中核市)で動物愛護管理行政を担当する129組織に「ノラネコ白書」を進呈するとともに、日頃の活動の参考としていただくため、どうぶつ基金と連携して活動する自治体と事業に協力いただいている動物病院にお届けしました。

さくらねこSHOP

オーガニックコットンやバンブーファイバーなど、人にも地球にもやさしい素材を使用したグッズが勢ぞろい。ショッピングを通して、地球環境や動物愛護の問題を考えてみませんか。
*利益はすべて犬や猫の救済をはじめ地球のいきものを守る活動に使われます。



BASE店



YAHOO!店



アーティストのご紹介





大切な命を守り、共に生きていく。

どうぶつ基金は、人間の勝手な都合によって殺処分される犬や猫をゼロにするために設立されました。それから36年。多くの皆様からのご支援によって、「さくらねこTNR」や多頭飼育崩壊の救済、里親探し助成金などの活動を続けています。殺処分ゼロ実現に向けて、あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

ご寄付のお願い

どうぶつ基金ではさまざまなご寄付方法をご用意しています

3,000 円で一頭のオスねこが…

5,000 円で一頭のメスねこが…

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

郵便局

00230-8-72832

公益財団法人どうぶつ基金

(コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)

普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金

(コウエキザイダンハウジンドウブツキキン)

* 公益財団法人どうぶつ基金 への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。



どうぶつ基金



つながる募金



YAHOO!募金



その他の寄付方法

遺贈や相続財産による寄付

遺言による寄付(遺贈)や相続した財産からの寄付も受け付けています。わかりやすいパンフレットをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

※遺贈寄付を行うには、遺言書の作成が必要です。

※遺贈による公益財団法人どうぶつ基金への寄付は、一定の条件を満たすことで相続税はかかりません。

※相続開始後10ヵ月以内にご寄付いただき、どうぶつ基金が発行する「領収書」を相続税申告書類に添付して申告していただくと、ご寄付いただいた財産には相続税がかかりません。

※現金以外の財産については、遺言執行者が現金化(換価処分)し、税金・諸費用を差し引いたうえで、現金にてご寄付いただくようお願いしております。



パンフレットのダウンロードはこちら。



寄付者の声

ガラスストローを通してつながる支援の輪 株式会社 ゲットイット様



TNR活動は立ち止まることなく進める必要がありますが、猫の不妊手術にはお金がかかります。このような社会問題こそ、会社がCSR(企業の社会的責任)として支援すべきではと考えました。サステナブルな製品であるガラスストローは、どうぶつ基金の「ちきゅう部」が掲げる“すべてのいきものが幸せで自由な地球”というミッションにぴったりだと思います。たくさんの方がさくらねこに想いを馳せながら「さくらねこガラスストロー」を手にとっていただけたら嬉しいです。



くり返し使えるおしゃれな「さくらねこガラスストロー」



ハードウェア製品のリユース企業として、環境に配慮したサービスを提供している企業様。CSR活動に熱心に取り組んでおられ、2020年からどうぶつ基金をご支援いただいています。ご提供いただいた「さくらねこガラスストロー」はさくらねこSHOPで販売しており、その収益がどうぶつ基金の活動資金に充てられています。

詳しくはこちら



「さくらねこガラスストロー」のご購入はこちら



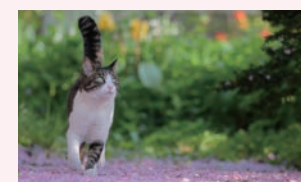
現場からの感謝の声

長野県 H.T 様

私たちは子猫を保護して里親さんに縁をつなぎ、親猫は不妊手術をして地域猫として見守ってもらう活動をしています。望まれず生まれてしまう子猫を少しでも減らすために、どうぶつ基金の制度を発足当時から利用させていただいており、本当に感謝しています。これからも皆様の気持ちに少しでも応えるべく活動をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

ご寄付の使いみち

TNRと多頭飼育崩壊の救済支援



出張手術



里親探しの支援



知ってもらおう活動



お問い合わせ 寄付や遺贈についてお気軽にお問い合わせください。



公益財団法人

どうぶつ基金

ANIMAL ACTION FUND

公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7

寄付のお問い合わせは **0797-57-1215** (平日10:00~17:00)

contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



殺処分ゼロを目指して。

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、
犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動してきました。
基金では、殺処分ゼロを実現するために年間5万頭におよぶ猫の無料不妊手術をはじめ、
無料不妊手術専門の動物病院運営や助成金制度、
啓発イベントの開催など、さまざまな事業に取り組んでいます。



どうぶつ基金のあゆみ

1988年	富岡操が財団法人横浜動物福祉協会を創設	2018年	あまみのさくらねこ病院開設(2019年6月閉院)
1990年	神奈川県愛甲郡清川村に移転 シェルター運営開始		奄美大島のすべての猫を対象に無料不妊手術実施
2005年	猫の無料不妊手術事業開始	2019年	さくらねこTNR累計110,000頭突破
2006年	佐上邦久が代表に就任		さくらねこ Japan Branding Awards2019 Winners賞を受賞
	財団法人どうぶつ基金に名称変更	2020年	さくらねこTNR累計160,000頭突破
2010年	公益認定にともない名称を		内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定
	公益財団法人どうぶつ基金に変更	2021年	全国3都市(大阪・福岡・宮崎)で
	事務局を兵庫県芦屋市へ移転		TNR地域集中プロジェクトを実施
	いのちつないだワンニャン写真コンテスト開始		さくらねこTNR累計222,222頭突破
	(環境省後援)	2022年	全国4都市(大阪・福岡・宮崎・熊本)で期間限定の
2012年	沖縄県石垣島で初の出張無料不妊手術		どうぶつ基金病院を展開、
	「さくらねこ」の名称誕生		TNR地域集中プロジェクトを実施
2014年	行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための		さくらねこTNR累計280,000頭突破
	助成金制度 開始	2023年	さくらねこTNR累計330,000頭突破
2016年	日本財団賞受賞		さくらねこ短歌コンテスト開始
2017年	社会貢献支援財団奨励賞受賞	2024年	さくらねこTNR累計380,000頭突破
	タイ国にて国際活動		「ノラネコ白書」刊行
	(ソイドッグファンデーション アニマルホスピタル)		

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)



科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
（1）経常収益	364,126,192	351,434,737	12,691,455
基本財産運用益	7,821,312	5,160,873	2,660,439
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	7,821,312	5,160,873	2,660,439
受取寄付金	323,677,881	326,684,559	△ 3,006,678
受取寄付金振替額	27,000,000	11,000,000	16,000,000
グッス販売収益	5,507,750	5,249,431	258,319
雑収入	119,249	3,339,874	△ 3,220,625
（2）経常費用	375,012,759	370,168,445	4,844,314
事業費	374,171,806	369,532,097	4,639,709
地代家賃	1,571,400	1,571,400	0
賃借料	149,166	149,166	0
水道光熱費	66,006	61,842	4,164
旅費交通費	455,752	439,115	16,637
通信費	1,882,312	1,415,444	466,868
荷造運賃	356,194	584,414	△ 228,220
広報費	19,191,616	18,316,418	875,198
消耗品費	4,453,391	1,977,814	2,475,577
修繕費	2,446,631	2,580,006	△ 133,375
減価償却費	2,729,542	2,899,405	△ 169,863
保険料	96,262	7,275	88,987
租税公課	43,747	97,270	△ 53,523
支払手数料	20,877,870	3,785,654	17,092,216
支払報酬料	12,144,613	9,605,863	2,538,750
事務手数料	7,462,417	7,954,081	△ 491,664
不妊手術援助費	291,400,794	306,500,898	△ 15,100,104
支払助成金	7,671,584	10,404,498	△ 2,732,914
グッス製作費	1,165,986	1,170,291	△ 4,305
雑費	6,523	11,243	△ 4,720
管理費	840,953	636,348	204,605
地代家賃	48,600	48,600	0
賃借料	4,614	4,614	0
水道光熱費	2,042	1,914	128
旅費交通費	14,096	13,582	514
通信費	58,217	43,777	14,440
荷造運賃	11,017	18,076	△ 7,059
消耗品費	6,834	48,921	△ 42,087
修繕費	75,669	79,794	△ 4,125
減価償却費	8,316	13,569	△ 5,253
保険料	2,978	225	2,753
租税公課	1,353	62	1,291
支払手数料	231,408	65,776	165,632
支払報酬料	375,607	297,089	78,518
雑費	202	349	△ 147
評価損益調整前当期増減額	△ 10,886,567	△ 18,733,708	7,847,141
基本財産評価損益等	△ 3,750,754	10,602,014	△ 14,352,768
評価損益等計	△ 3,750,754	10,602,014	△ 14,352,768
当期経常増減額	△ 14,637,321	△ 8,131,694	△ 6,505,627
2 経常外増減の部			
（1）経常外収益	0	0	0
（2）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 14,637,321	△ 8,131,694	△ 6,505,627
法人税、住民税及び事業税	93,539	115,800	△ 22,261
当期一般正味財産増減額	△ 14,730,860	△ 8,247,494	△ 6,483,366
一般正味財産期首残高	140,510,590	148,758,084	△ 8,247,494
一般正味財産期末残高	125,779,730	140,510,590	△ 14,730,860
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	116,936,767	△ 116,936,767
一般正味財産への振替額	△ 27,000,000	△ 11,000,000	△ 16,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 27,000,000	105,936,767	△ 132,936,767
指定正味財産期首残高	105,936,767	0	105,936,767
指定正味財産期末残高	78,936,767	105,936,767	△ 27,000,000
III 正味財産期末残高	204,716,497	246,447,357	△ 41,730,860

貸借対照表

令和7年3月31日現在 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)



科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	55,639,872	53,036,209	2,603,663
売掛金	744,888	367,269	377,619
商品	1,266,701	1,619,247	△ 352,546
前払費用	3,584,224	1,193,379	2,390,845
未収入金	446,113	446,113	0
流動資産合計	61,681,798	56,662,217	5,019,581
2 固定資産			
基本財産	72,663,063	76,413,817	△ 3,750,754
投資有価証券	72,663,063	76,413,817	△ 3,750,754
特定資産	98,936,767	135,936,767	△ 37,000,000
TNR 事業積立資産	78,936,767	105,936,767	△ 27,000,000
TNR 事業拡大積立資産	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000
その他の固定資産	5,481,728	8,219,586	△ 2,737,858
工具器具備品	200,328	477,486	△ 277,158
差入保証金	360,000	360,000	0
ソフトウェア	4,921,400	7,382,100	△ 2,460,700
固定資産合計	177,081,558	220,570,170	△ 43,488,612
資産合計	238,763,356	277,232,387	△ 38,469,031
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	33,831,940	30,445,634	3,386,306
未払法人税等	82,000	115,800	△ 33,800
未払消費税	0	95,300	△ 95,300
預り金	132,919	128,296	4,623
流動負債合計	34,046,859	30,785,030	3,261,829
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	34,046,859	30,785,030	3,261,829
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	78,936,767	105,936,767	△ 27,000,000
（うち特定資産への充当額）	(78,936,767)	(105,936,767)	(△27,000,000)
指定正味財産合計	78,936,767	105,936,767	△ 27,000,000
2 一般正味財産	125,779,730	140,510,590	△ 14,730,860
（うち基本財産への充当額）	(72,663,063)	(76,413,817)	(△3,750,754)
（うち特定資産への充当額）	(20,000,000)	(30,000,000)	(△10,000,000)
正味財産合計	204,716,497	246,447,357	△ 41,730,860
負債及び正味財産合計	238,763,356	277,232,387	△ 38,469,031

どうぶつ基金は、

人とどうぶつが幸せに共生できる

社会づくりに貢献します。

